

出題趣旨・採点基準（民法） 配点 100 点

問題 1 は、所有権留保と集合動産譲渡担保が競合する事例につき、判例や学説の状況を踏まえつつ、相手方に占有がない場面での金銭での請求の仕方、所有権留保と集合動産譲渡担保の優劣関係とこれが請求との関係で持つ意味、集合動産譲渡担保権者による即時取得の可能性や第三者による即時取得の可能性の意味、請求額が複数考えられる場合の基準と理由を中心に、論理的に整合的な記述をすることを求めている。

問題 2 は、建築請負契約で、引き渡された仕事の目的物に契約不適合があった事例に関して、注文者が報酬債権の支払を拒むためにどのような主張をすることが考えられるかを問う出題である。追完と報酬支払の同時履行、追完に代わる損害賠償と報酬支払の同時履行および損害賠償債権と報酬債権の相殺、報酬減額請求、契約解除の主張のそれぞれの要件および効果について、請負人の対応見込み等も踏まえつつ検討することを求めている。

これによって、基本的な法律科目に関する基礎的学識を習得し、法的な思考・判断力、理解・分析力及び表現力を備えているかどうかを判定した。